

令和4年度第2回浜松市美術館協議会会議録

1 開催日時 令和5年3月23日(木) 午後2時から午後3時10分

2 開催場所 浜松市美術館 2階 講座室

3 出席状況

(出席委員 6人)

会長	内田 いず美	委員	青木 明子	委員	生熊 周
委員	磯部 啓次	委員	田中 裕二	委員	山口 剛

(欠席委員 2人)

(出席者の職氏名)

市民部文化振興担当部長	嶋野 聡	浜松市美術館長	飯室 仁志
浜松市美術館長補佐	高山 和也	副主幹	市川 智久

4 傍聴者 1人

5 議事内容 審議事項

- (1) 令和5年度浜松市美術館事業計画について
- (2) 令和5年度浜松市秋野不矩美術館事業計画について
- (3) その他

6 会議録作成者 美術館美術振興グループ 市川 智久

7 記録の方法 発言者の要点記録
録音有

8 会議録

- 1 開会 (高山館長補佐)
- 2 浜松市美術館協議会会長あいさつ (内田会長)
- 3 浜松市市民部文化振興担当部長あいさつ (嶋野部長)
- 4 議題

- (1) 令和5年度浜松市美術館事業計画について
(事務局 飯室館長から資料に基づき説明)
- (2) 令和5年度浜松市秋野不矩美術館事業計画について
(事務局 飯室館長から資料に基づき説明)
- (3) その他

(質疑)

- (1) 令和5年度浜松市美術館事業計画について

委員A：葛飾北斎展は巡回展で受け入れるという事だが、北斎は人気があり、東京の六本木ヒルズやサントリー美術館で大規模に開催され、それと比べるとグレードダウンしてしまうが、浜松市美術館は市民にどのように提供するのか。

山本二三展だが、静岡市美術館で2014年に開催している。

今回の浜松市美術館で開催する展覧会は新・山本二三展なのか。

事務局：函館からスタートする新・山本二三展である。

委員A：みほとけ展については、あれだけのボリュームの仏像を今までに見る事が無かったのが良かったと市民の方から聞いた。

2回のみほとけ展ということで、博物館と美術館の仏像展の違いをどのように企画しているのか。

事務局：博物館は歴史的な背景からを展示する、美術館は仏像の美を展示する場所。

委員B：北斎は有名で、全国的に展覧会を開催されているため、その中でも浜松市美術館の特徴を出せば良い。

委員C：博物館と美術館の違いは見方の違いで、歴史的価値か美術的価値かで作品を扱う側が変わってくる。

北斎展は、複数の北斎展をご覧にならない方は比較のしようがないので、企画の内容などで差別化する必要もないのでは。浜松は浜松の良さを出せば良い。

委員D：美術館資料購入基金積立金について、現在の残高はいくらあるのか。

浜松市ホームページで寄附金の募集があるが、市民の方からの寄附金が年間どれぐらいあるのか。

今後この基金をどのように運用していくのか。

事務局：残高は約4億2千万円。

寄附金について令和4年度は107万5千円。

岸田劉生の作品やガラス絵など、機会があれば購入を検討していきたい。

委員D：目減りしていくばかりで、使えば減って増えない。

最近クラウドファンディングを活用する自治体もあるが、成功すれば良いが集まらなければ買えないことになる。

クラウドファンディングで集まると、クラウドファンディングのできるのなら予算は不要と判断され、慎重に活用の仕方を考えなければならない。

しかし、必要なものが出たときに即座に購入できる態勢を整えておいたほうが良い。

委員E：北斎展については浜松のやり方で良い。浜松でやること自体に大きな意義がある。

地元で開催して地元で本物の美術作品に会えることは、遠出できない子供達にとって大きなきっかけになる。

季節も子供達が出かける時期と重なり良い。そして北斎は有名なので、子供達の美術の入口として考える題材となる。

キャッシュレス決済について、いつ頃にどんな方法を考えているのか。

事務局：北斎展からの導入で、カードなどQR決済はかなりの範囲でカバーできる予定。

委員C：キャッシュレス決済について、私のところでもつい最近導入したばかり。

一社で、ほぼすべてのカードと電子マネーまで網羅し、交通カードなども扱えるような会社がいくつもあり、導入費用が非常に安いのでぜひ検討ほしい。

委員A：使った方の年齢とか性別とか把握できるのか。

事務局：カード会社では把握していると思うが、その情報は個人情報なので美術館では分からない。

(2) 令和5年度浜松市秋野不矩美術館事業計画について

委員A：秋野不矩美術館の案件で、主催が浜松市と浜松市文化振興財団となっているが、主催は浜松市秋野不矩美術館（指定管理者：浜松市文化振興財団）ではないか。

事務局：今後検討をして結論を出す。

委員A：浜松市美術館も主催として入っているのか。

事務局：それはない。

委員A：前回の美術館協議会では、遠方からの来館者が秋野不矩の作品が見ることができず残念だったとお伝えしました。その後、2階のギャラリーに展示してあったとその方にお伝えしました。秋野不矩の顕彰館であるので、藤森氏によるメイン展示室で見たかったと。私も展示室で常設展示を希望します。

事務局：秋野不矩の作品は、館蔵品を使った企画として1階で出しているのですが、できれば日程表をご覧ください、その時を狙って来館していただくと非常に良いと思う。

委員F：どうしてもスペース的な問題がある。

広いスペースがあれば、常設展を設ける中で特別展を別室となるが、限られたスペースの中で考えると、それはやむを得ないと思う。

事務局：1年間でほぼ全部の秋野不矩作品が展示できるように工夫している。

(3) その他

委員A：私の知り合いの市民からの要望をお伝えします。

桜の時期に合わせて開館、展覧会を開催して欲しい。

水戸芸術館で開催されているような社会情勢に合わせた、問いかけるような展覧会を開催して欲しい。水戸芸の展覧会資料をお渡しします。(ケアリング/マザーフード：「母」から「他者」のケアを考える現代美術展)

遠藤美香展が昨年度は浜松市美術館とクリエート浜松で開催されていた。主催が浜松市（美術館）と浜松市（中区区振興課）で担当が違うのか。一緒に開催しても良かったのではないかと。

事務局：教育普及については、どのような内容でどれだけ開催しているか公開している。

遠藤美香展について、クリエート浜松で開催した展覧会は、浜松ゆかりの芸術家を受賞された顕彰記念事業で、浜松市美術館開催年度と偶然重なった。

委員C：秋野不矩美術館が指定管理となったその効果は。

事務局：集客に関しては少しずつではあるが増えてきている。

令和4年度の企画については、前年度まで運営していた浜松市の美術館職員が企画した企画だった。

令和5年度6年度では、今までの浜松市直営のものとは違う雰囲気で作っていただけと思う。

委員B：私の認識では、指定管理者導入はある程度経費を抑えた形で民間活力活用するものと理解している。

しかし、昨年度と比較して予算が増えているので、その理由を教えてください。

事務局：令和4年度の予算と令和5年度の予算を比較して金額が増えている。

理由としては、温湿度管理を行う中央監視装置の更新工事によるもの。運営自体の予算に関しては3年間同じ金額が決まっている。

委員D：博物館法の一部改正の法律が施行される。

5年間は経過措置でそのまま登録博物館になるが、5年の中で再登録申請をしなくてはならない。

5年間のうちに体制を整える必要がある。再申請がスムーズにいかないことが懸念されるので、今議論されている展示のことばかりではなく、収集や資料の管理など、全体的な体制づくりを今から進めていったほうが良い。

事務局：県から既に調査や話が来ている。

今回の法改正のメインは、今まで登録できなかった美術館、博物館を登録させるのが一番大きな改正の要点ではないかと感じている。

基本的に整備は進めつつ、現状の中で登録をしていくものと考えている。

事務局：委員の任期については2年間という任期でお願いしています。

また、後日になりますが個別に担当から連絡等で対応させていただきますので、よろしくお願ひします。

5 閉 会 (高山館長補佐)

9 会議録署名人
議 長

内田いず美